

# なきごえ



1981

7

大阪市  
天王寺動物園協会

# ごあいさつ

(社) 大阪市天王寺動物園協会  
会長 大島直子



このたび、会員の皆様方のご推挙によりまして、当協会の会長をお引き受けすることになりました。

これからは、皆さんと一諾になって、この協会を発展させてゆきたいと思っております。

この協会の設立主旨は、天王寺動物園の発展に協力することです。

協会が発足いたしましたのは、今から14年前の昭和42年5月1日とうけたまわっております。前会長を始め、皆さんのご努力で今では協会の基礎もできあがり、これからは、さらに事業を今までよりも拡大し、幅広く進めたいと存じます。これのためには、会員の皆さんのお力添えと、公園局のご理解をいただく必要があると思っております。

皆さんにおかれましても、前会長同様、あたたかいご支援、ご協力をいただきますよう、お願い申しあげまして、会長就任のあいさつといたします。

昭和56年6月27日、浪速区寿殿本館で昭和56年度天王寺動物園協会の総会が開催され、新会長に大島直子大阪市長夫人が推挙され、副会長に近藤幸子大阪市助役夫人、寺内信三氏(留任)、和田辰己氏(前専務理事)が、専務理事に中川道朗氏(前天王寺動物園長)が選出されました。

また、本年度事業計画として、春・秋の動物園まつり、動物愛護・愛鳥週間などの行事及び展示会等、動物園が企画している各事業に協力する計画が決議され、月刊誌「なきごえ」も従来どおり、市内小・中学校、保育所、幼稚園、全国動物園・水族館、報道関係、ライオンズクラブ、協会員に配布することが決まりました。



総会は、二宮敏明公園局長、清水利三公園局管理部長、橋本一郎天王寺動物園長の出席があり、終始なごやかなうちに終了いたしました。

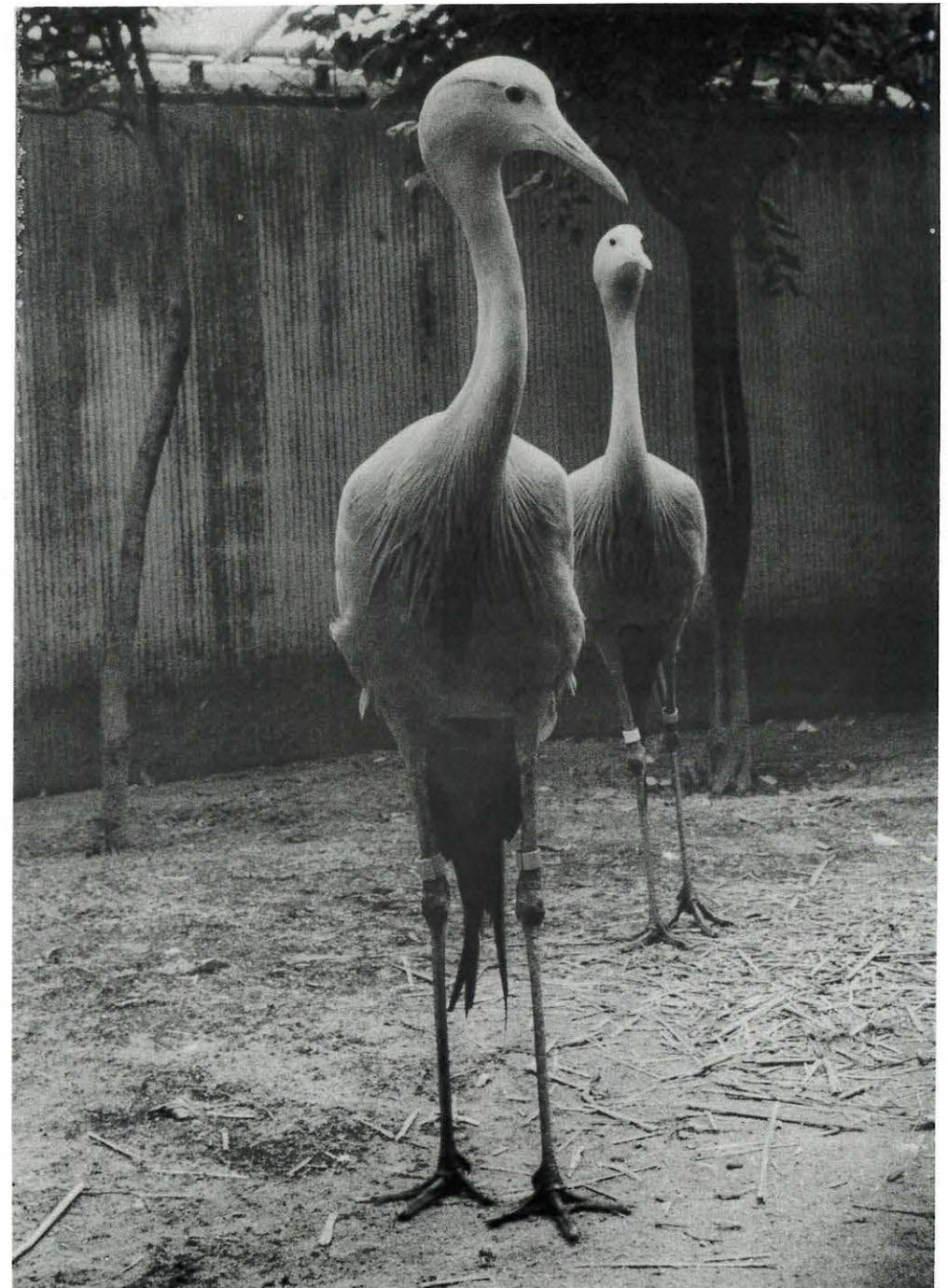
## なきごえ7月号もくじ

ごあいさつ	2
“ハゴロモヅルお目見え”	3
動物園グラフ・日記	4・5
キーウイとの合唱	6・7・8・9
キーパーズ・アイ ⑬	10
動物園ニュース	11

## 表紙の写真説明

“キーウイ”  
満11年飼育のキーウイ、ニュージー君です。  
エサのミミズやドジョウをおなか一杯食べて元気一杯です。

(撮影：樽本 勲)



## “ハゴロモヅルお目見え”

6月1日、多摩動物公園よりハゴロモヅルのペアが入園しました。

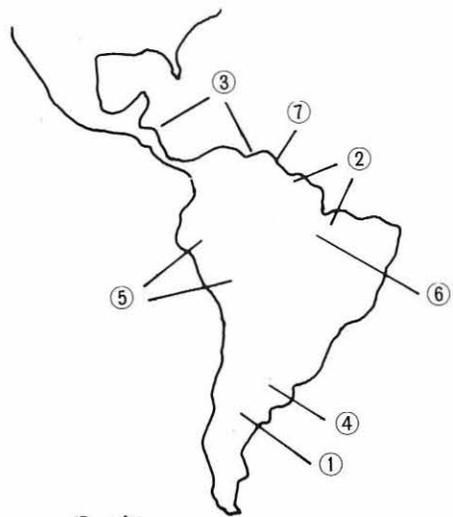
(撮影：仲谷 登)

# 動物園グラフ

## “中南米の動物たち”

中南米の動物相は変化に富んでいて、特殊化した動物が数多く見られます。今月は当園で飼育している中南米の動物たちを紹介します。

(撮影：農本武志)



分布



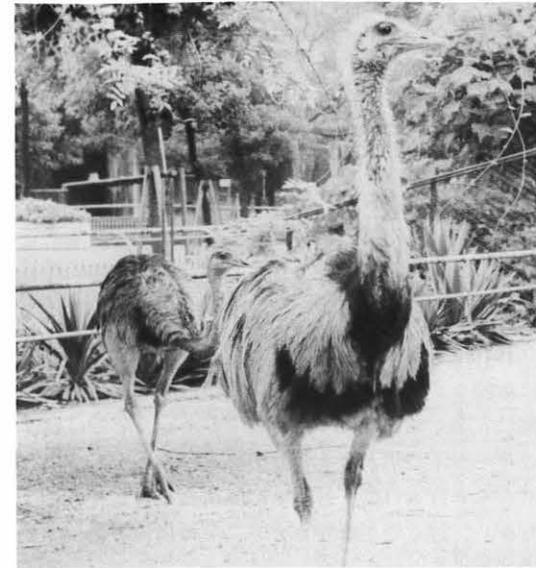
① マーラ 齧歯目：テンジクネズミ科  
体つきはウサギに似ていますが、ネズミの仲間です。



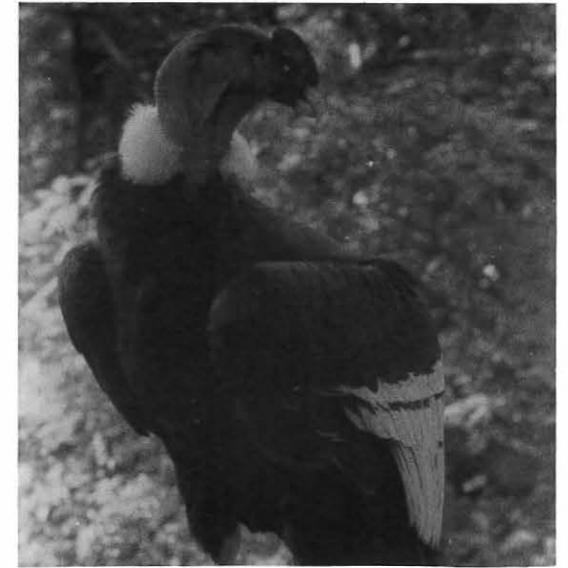
② オセロット 食肉目：ネコ科  
美しい毛皮のために乱獲され、絶滅の危険がある中型のネコです。



③ パカ 齧歯目：パカ科  
体に白い斑紋がある大型のネズミの仲間です。昨年、日本で初めての赤ちゃんが誕生しました。



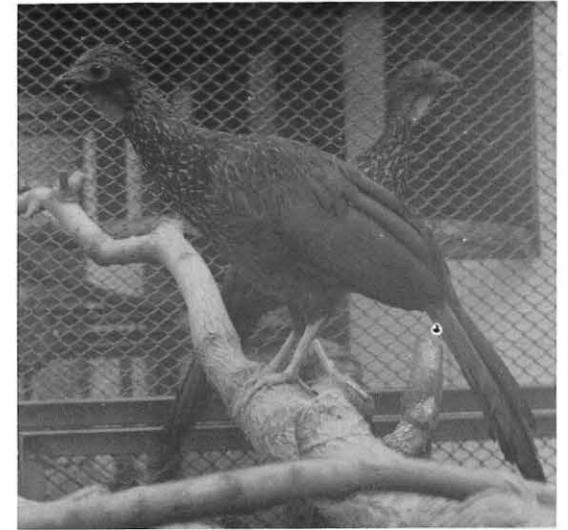
④ レア レア目：レア科  
別名アメリカダチョウといわれており、走るとても早い鳥です。



⑤ コンドル ワシタカ目：コンドル科  
翼を広げると3m以上もある大型の鳥で、現在生息数が減りつつあります。



⑥ ケナガモザル 霊長目：オマキザル科  
樹上の生活に適した動物で、尾が手の役割をする程発達しています。



⑦ チャムネシャッケイ キジ目：ホウカンチョウ科  
南米特有のキジの仲間、樹上での生活に適しています。

## 5・6月の動物園日記

- 5 / 21. アネハヅルが第3卵目を産みました。  
22. コブハクチョウが3羽ふ化しました。  
23. ニホンジカが1頭生まれました。  
25. 一昨日生まれたニホンジカの子が肛門を過剰になめられ死亡しました。  
26. タンチョウが1羽ふ化しました。  
冷房ペンギン舎に、ペンギンを移動しました。  
27. タンチョウが昨日にひき続きふ化しました。  
またショウジョウトキもふ化し、両種とも

- にヒナが2羽ずつとなりました。  
アカカンガルーの右足が化膿していたので手術しました。  
28. 島根県盲学校の中学部生徒が触察のために来園しました。  
当園の定例飼育研究会が開かれました。  
29. コハクチョウが腹腔内出血で死亡しました。  
30. タンチョウのヒナが1羽死亡しました。  
6 / 1. カリフォルニアアシカの子供2頭の餌付けがはじまりました。  
メンヨウの毛刈りがありました。  
上野動物園の増井先生他3名の方々が来園

- されました。  
2. ジェンツーペンギンが卵を1コ産んだのでふ卵器へ入卵しました。  
ハゴロモヅルのつがい本日よりキジ舎で展示されました。  
3. ブラッザモンキーの子2頭の検疫が終了し、本日よりサルアパートで展示されることになりました。  
4. コウノトリが産卵しましたが、殻が軟かったため割れてしまいました。  
7. 釣針を飲みこみ衰弱したシロチドリが当園に保護され、すぐに摘出手術がおこなわれ

- ました。  
8. カリフォルニアアシカの子が1頭生まれました。  
10. キョンの子供が昼過ぎ1頭生まれました。  
12. カルガモのヒナ及びムクドリの子が保護されました。  
13. ショウジョウトキが1ヶ産卵しました。また別のペアのヒナ2羽が巣立ちました。  
18. ニホンザルが子供を1頭出産しました。  
19. 近畿ブロック獣医並びに飼育技術者研究会が、岡山の池田動物園で開催され、当園からは、2名が出席しました。

# キーウィとの合唱

☆ はじめに

1970年7月2日、万博記念にニュージーランド政府から贈られたキーウィのニュージー君、来園以来いつのまにか11年の歳月が流れました。その間、昼間は木穴の中で眠っているばかりで一向に姿を見せないという生活は、今でも少しも変わっていません。しかし、夜の生活は当初とは信じられない位変わりました。毎晩人間との合唱？を



楽しむ、まことに入園当時のニュージー君とランドちゃん(手前)優雅な生活が続いています。今にして思えば、ニュージー君は、たとえば悪いかも知れませんが、自閉症の登校拒否だったのではないのでしょうか？それは日頃の様子から推して、どうもワナにかかって指がちぎれるという恐ろしい体験がもとで、環境の変化と、人間に対する不信の念がこり固まって、そういう状態をつくっていたのだと考えられます。ですから、



左足の第3指が欠損

ニュージー君は少し普通のキーウィと違っているかも知れませんが、ともあれ、一つのキーウィ像として、なき声と行動を主に、出来る限り正確にその生活を記して見ようと思います。しかしなにも、

昼の姿は勿論、夜の様子も殆どの人が目にとめていないキーウィの事ですから、事実だけを述べたのではかえってお判りいただけないと思いますので、感じたままも付け加えさせていただきます。 “キーウィはニワトリ大の鳥で、ダチョウやレアと同じ走鳥類に属する。この飛べない鳥がすむニュージーランドには、8000万年もの間、哺乳類がいなかった。哺乳類が占める筈だった生活領域へ進出す

る過程で、キーウィは哺乳類に似たいくつかの特徴を進化させた” W. A. カルダー博士はこう云って、“名誉哺乳類”の地位をキーウィに与えたいと思うと書いておられます。この記事を目にした時、私は思わず、我が意を得たり、と思いました。学者としてのそれとは別に、飼育係として、今のニュージー君に接する時、ほんとに“鳥と哺乳類の合の子”という感じがびつたりなのです。

☆ 経過

1970年来園。それ以後7年間、ニュージー君は年に数回なくのがきかされただけで、(午後9時までの間に)全く変化はありませんでした。7年目に録音でキーウィの声が流されたのをキッカケに、7月18日から8月6日迄、毎晩8時頃になるとなきました。しかし、近くで工事が始まり、それ以後、ぶつり途切れてしまいました。

翌年1月頃から、再びぼつりぼつりとなくのがきかれました。5月、6月と毎晩のようになき出し、それまで、入室すればたちまち巣穴へかけ込んで出て来ない。という有様だったのが、フンフン云いな



巣穴から出てきたところ(朝日新聞社提供)

がら出て来るようになりました。ところがここで私は大失敗をやってしまいました。ニュージー君が人間に馴れたのだと勘違いしてしまったのです。赤外線によるテレビ撮影(室外)と、写真撮影(室内)一ところがニュージー君にとって、夜の時間帯に私と共にいる時、私以外の第三者が介入介入する事は、私への強い不信へとつながったのでした。ニュージー君はとび上り、手の平を返すようにビタリと翌晩から出て来なくなりました。勿論なき声もきかせてくれません。一たん、毎晩ないたり、出て来て姿を見せたりしてくれたのが、どんなに呼んでもガンとして出て来ない、10時11時になっても……というのは実に情けない思いをさせられたものです。病気ではないかとの心配もあるのですが、この場合は、“白

い目で見ると”という形容詞そのままに、たとえ出ていてもスッと巣穴へ入ってしまうのですから、こちらに非はあると充分に承知させられたわけで、苦笑するしかありません。丁度すぐ近くで小鳥舎の工事が始まり、騒音がひどく、私もすっかりあきらめてしまいました。ただ、便や嘴のあと等から毎晩随分おそくなってから(9時30分過ぎ)出ていたのだけは判っていましたけれど。

翌1979年、2月頃からやっと機嫌がなおりました。入室してもじっとして、巣穴へ入るのがゆっくりになり、そのまま出ているという経過をへて、やがてフンフン云いながら歩き廻る状態まで戻り、なき声もきかせてくれるようになりました。この時までのなき声というのはすべて室外でできたものです。

そして12月23日、丁度クリスマスの前ですから、私はなにげなく、“清しこの夜”を歌いながら鍵をあけ、暗い廊下へ入りました。とたん、でした。キーウィのあの独特の“キー、キー”という声が私の声に重なったのは、夢かと思う喜びの中で私は歌い続け、キーウィもなき続けました。まさにキーウィは合唱しようとして合唱したのだ、強い感激にひたされながら、私はそう思いました。そしてその後、ニュージー君は閉ざされていた水が堰を切ったように、合唱？し始めたのです。信じられない思いのまま、これがいつまで続く事かと私は疑っていました。その頃はまだ、点灯前の暗い廊下でだけの合唱で、キーウィのなき姿は見る事が出来ません。(低い壁があるので)しかし、どうも点灯する事は(60Wの暗い緑色電球で人間の目には夜の感じ)キーウィにとって嬉しい事ではないようだと気が付き始めていました。視力が弱いと云われていますが、ニュージー君は作業が残り消灯するのを足ふみして待っているのが判って来たからです。



鳴き続けるニュージー君(朝日新聞社提供)

7月、再び工事が、今度はすぐ隣接する裏で始まりました。始めのうち、ニュージー君はがんばって合唱してくれましたが、やがて出て来るのは出て来

ても合唱はしなくなりました。やはりなくのはキーウィにとって機嫌のよいあかしと云えるのでしょうか。

工事が終って12月、再び合唱が始まりました。そして、1981年、終にニュージー君は廊下から扉を開けてのほんとの同室内で合唱する事を許してくれるようになり、更には、30cmと離れない目の前で合唱してくれるようになったのです。丁度来園11回目の冬を迎えていました。

☆ ニュージー君の此の頃

キーウィは完全な夜行性で、巣穴から出て来るのは冬で6時、夏で8時30分頃、という事になるようです。なく声は2km四方にひびくと云われていますが、30cmと離れない処できくと、まさに女性の絶叫という形容詞が一番よく合うような気がします。もっとも、まろやかな美しさはずっとキーウィの方がまさっていると思われませんが……。そして、私が同じような音量だと思って合唱しても室外から録音してみると、キーウィの声は普通に聞こえますのに、人間である私の声は蚊のなくようにしか聞こえません。キーウィの声帯は独特のものなのではないかと思われま

す。さて、その時間帯になると、ニュージー君は呼び出しのなき声をあげます。“キー、キー”と段々オクターブをあげ、長くひっぱるようにならなき終ります。大体連続12回~28回というところ、時間にして15秒~35秒位。面白いのは合唱している時、も一つおまけにキーイという感じで付け加える事がよくあります。それ以上は息が続かないようです。同じ室内にいて始めて判る事ですが、キーウィはなき始めに必ず、ヒーッという音か、又はオーッという、まるでどこにからまったタンをきるような音を出します。その為、様子からだけでなく、暗くて姿が見えなくても録音は極めて容易なのです。なき始めから録音出来るのは大きな利点です。テープの無駄がはぶけますから……。

冗談はおいて、さて、呼び出しがあつてからゆくと必ず待っていて、作業が残り消灯するや、フンフン云いながら歩きます。時にはこちらの方が早く、まだ巣穴で眠っている時もありますが、やがてフンフン云い出し、嘴を出してほんの少し辺りを探し、ヤットコという感じで巣穴をぬけ出します。私はその時は大低スチームの上に腰かけて呼び出しの歌を歌っていますので、巣穴の入口とは50cmと離れていません。ニュージー君はその事を少しも気にしていないようです。大きく伸びをし、嘴で干草を

かきよせて巣穴の入口をちよいちよいと直し、さてそこでそのまま合唱に入ったり、又は水を飲んで少しあちこちしてから合唱したりします。



水を飲むスタイル(朝日新聞社提供)

一度なくと15分から30分、時には45分、という間隔がないと次になくエネルギーがたまらないようです。ですから、私が退勤するまで、一晩に3回がせいぜい。4回はごくまれとなります。(この場合の1回と云うのは、キーイ、キーイと連続してなくのを1回と数えます)これは勿論合唱が始まってからの現象で、ニュージー君は出来るだけ多く合唱したいらしいのです。

全く全身全霊をあげてなくよう、胸をはり、首をのぼし、“キーイ”となく度に頭や嘴が上下するのが暗い中でもよく見えます。場所はきまっています。

或時、私のいた位置が暗すぎたのでしょう。足もとにいてフンフン、ウウウと云っていたのが、急にくるりと向き直り、光のさし込む窓の方をむいてチョコチョコと走り、私には全く無防備な背中を見せてキーイ、キーイとやり始めた時には、驚きにも似た感動を覚えました。憶病と云われたキーウイの真の姿がこれなのではないのか。一瞬、私はほのかな明りの中でなき続けるニュージーを媒体として、遠い遠い7千万年前のキーウイのおぼろな影と相対しているように感じました。キーウイには時にふっと何かそういう、人間など預り知らぬ、古い古い生物の雰囲気を感じさせられる時があって、それが大きな魅力の一つになっています。

ウウウと云う声もその一つです。キーウイは嘴の先に鼻穴があり、そこへ土がつくので、それでいつもフンフンと云うと云われています。しかし、ほんとにキーウイがすねている時は、フンともスンと

も云いません。全くのダンマリです。ニュージー君にはどうも好きな曲とそうでない曲があるようで、好きなのはスローテンポの“赤とんぼ”“やしの実”“荒城の月”“また逢う日まで”等々です。もともと、私は自他共に許す音痴ですから、他の歌は音程がずれているのかも知れません。昨年6月、“ア、ソレ、好キダヨ”という感じで、思わずのどから洩れたようにウウウと云った事があります。そしてその時から、ウウウと云う、合いの手とおしゃべりともつかない声がきかれるようになりました。長い時は30分、私の足もとでじっとして云う時、歩き廻ったり、ミミズを食べたりしながら云う時、様々です。高低、長短、強弱、



ソナグラムにして表わせば随分面白いと思われませんが、残念な事に、これは耳にきこえている程には録音がうまく入りません。しかし、一生懸命何かを伝えようとしている、親しい気分だけはひしひしとこちらに伝わって来ます。キーウイは子育ての時、又メスや仲間に対して信頼のやさしい感情を表わす時、このような声を出すのでしょうか。これはラッパどりやミアキャットがささやく甘え声とよく似た感じを持っています。

もう一つ、キーウイの行動で私が勝手にアタックと名づけているものがあります。エーッというような声をあげながら、足でけりつけてくるのです。攻撃ともとれるので、(キーウイの攻撃はこれと同じ)始めはそう思っていたのですが、どうもそのあと、ケロリとしてウウウと親しげに話し、合唱する処をみると、多分は儀式めいた処もあるのかも知れません。この時、よく見当を連れてひっくり返るのです。鳥がひっくり返るのは体が弱っている時で大変なのですが、キーウイの場合、まるで仔犬がじゃれていてひっくり返るのに似てすぐしなやかに起き上がります。ズボンをくわえたりするので、難なく捕え

られます。さわると、尾と翼に当る部分に丁度耳たぶのような感じのものがああります。そのまま抱き上げて、上下左右にゆすり、少し運んで降します。ほんとにいやならそれで絶対出て来ないでしょうの、ニュージー君は私と争うように、足もとへまつわりついて元の場所へ帰って来るのです。この場所は出口の扉の処と決っていますが、何か一つの気分のようなものがあって、今日は静かにしておこうと思うとアタックはしません。フンフン、ウウウと云っています。なお、ニュージー君は現在本宅以外に3つの別荘を持っています。どれもよく利用しています。野生のキーウイはどうしているのでしょうか？別荘は共有という事もあるのでしょうか？

#### ☆ おわりに

考えてみると、キーウイと合唱出来るのは全く運が良かったのだと云えましょう。ニュージー君が長生きしてくれた事、一羽きりであった事、(これは不幸ではありますが)夜行性動物館でなかった事、(禍転じて福の感じ)天井が高かった事、(低いとなき声がひびき過ぎるのでは?)、担当者が変わらず女声で対応出来た事、ずっと声をかけ、歌も歌っていた事、そして良い代勤、理解ある上司、同僚、宿直



者に恵まれた事、等々。すべて感謝の一語につきるようです。

私には一つの楽しい想像があります。オークランドの動物園には、展示室の他に広い自然のままの放飼場があって、ここでキーウイ達は展示のストレスをいやし、繁殖をします。これは夜行性動物館と共に、わが動物園上層部の長い間の希望でもあったのですが、どちらもまだ実現に至っていません。もし、こんな放飼場があったら……。そこでは野宿も可能でしょう。そして — キーウイは遠くにいても、こちらの声をたよりにフンフン云いながらやっ

て来て — 満天の星の下、キーウイと人間の合唱が始まるのです。“名も知らぬ遠き島より流れよやしの実一つ……”“キーイ、キーイ”と。その時始めて、キーウイが一晩にいったい何回なくのか、果してほんとに人間と合唱する事を楽しんでいるのか、がはっきりすると思われまます。妻や子があれば、ニュージー君はそれ等をひきつけてくるのでしょうか？丁度私と仲よしだった野生の“コジュケイ”がそうしたように……。現在のニュージー君は単なる条件反射や代替物としてではなく、丁度人間がカラオケを楽しむように、伴奏として人間との合唱を楽しんでいるように思われます。話はそれますが、かつて担当していた木登りカンガルーのルーちゃん、物の本に愚鈍ときめつけられていた彼女が、いろいろの遊びを考え出し、特に、高い扉の上から弾丸のように身を丸めて、私の腕の中へ落下するという、生命がけの遊びを楽しんだ事を、私は忘れる事が出来ません。キーウイも又、音の遊びを楽しむ事を知っているのではないのでしょうか？そして、このような楽しみを見出したニュージー君が子育てをしたら……。キーウイはオスがそれをすると云われています)果して子孫にそれが文化の一つとして伝わってゆくのだろうか？幸島のサルイモ洗い文化のように……。私は今、単なる繁殖より別の意味で、ニュージー君に子孫のない事が悔まれてなりません。ニュージー君、ほんとにありがとう！随分意にそまぬ事もあったでしょうに、実によくがんばってくれました。これからも、どうか元気にうんと長生きして、そして出来る事なら、あなたのその素晴らしい素質を伝えるべき子孫を、この地上に残して下さい！担当者として、又、あなたに許された只一人の人間の友として、私は切にそれを祈っています。

(6月30日記す)

(飼育課：磯田啓子)

## キーパーズ・アイ ⑱

### “キリンは何メートル？”

当園には3頭のキリンがいます。オスのタカオ、メスのリツ子とサキ子です。一番大きいのがタカオで年令は、25才です。よく入園者から、「あの大きなキリンの背高はどの位ですか」と、聞かれます。

私は、キリンの背高をまだ測った事がないので、5m位ですと、適当に答えていたのですが、これではいけないと思い、キリン舎の入口に10cmくぎりで5m 60cmまで測れるメモリをつけました。キリンはあまりじっとしていないので測りにくいのですが、入口ですので、キリンが部屋から出る時や、入る時に測りました。その結果、タカオで4m 50cm。リツ子で4m。サキ子は3m 20cmでした。これは頭迄の高さです。肩高はタカオが3m 20cmで、足の長さは2mでした。今まで思っていたより50cmもひくかったのです。私にキリンの高さを聞かれた方、申し訳

ありませんでした。今度キリンを見にこられたら、色々な所を測ってみてはどうでしょうか。

(飼育課：野口 秀高)



(イラスト：松山 浩美)

### “不法侵入者（鳥）”

動物園には、いろいろな野鳥が飛んできます。園内の樹木にも時々、巣を作っている鳥を見かけます。又、動物舎の中にも、スズメやドバトが巣を作ります。動物舎の中の巣は、色々な害があるので、せっかく巣を作った鳥には、かわいそうですが、巣を取りのぞきます。南園のクジャク舎の天井にムクドリ



(イラスト：松山 浩美)

が巣を作り始めました。クジャク舎の上に円形の鉄板が2枚合わせてはってあり、その間がちょうど15cm位の空間になっており、その空間に巣を作ったのです。高い所ですので野良ネコにもねらわれず、また雨もあたりませんので実にいい所を見つけたものです。クジャク舎には、マクジャク、キンケイ、ウーダン、スワローバト等、数種の鳥が入っていますが、ムクドリが巣材を運び、せっせと巣作りを開始しても、他の鳥は別に興味がないように、生活しています。そしてムクドリは巣作りにはげみ、りっぱな巣を完成させて卵を生みました。抱卵をし卵からヒナ鳥がかえり、今、親鳥がいっしょうけんめいヒナをそだてています。親鳥がエサをもって帰ってきますと、ヒナ達はピイピイと、元気な声で鳴いておりま。私も早く巣立つ日を楽しみにしながら見まもっています。

(飼育課：野口 秀高)

## 動物園ニュース

### § タンチョウ6年連続孵化。

先月のニュースで産卵をお知らせしましたタンチョウが、5月26、27日両日に孵化しました。これで6年連続11羽の雛が孵化しました。しかし、残念なことに先に孵化した雛が4日後に啄傷のため死亡してしまいました。昨年1羽のヒナを失っていますので、残る1羽はぜひ元気に育てたいものです。

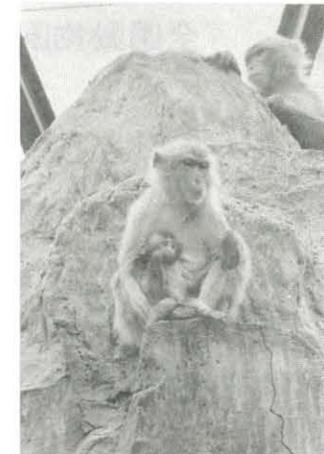


### § ハゴロモヅル入園



6月1日、ハゴロモヅルが一番入園しました。東京の多摩動物公園の御厚意により贈られてきたもので、さっそくコウノトリが新居へ移った後、空室だったツ

ハシリウキュウガモも6月21日に1羽孵化しました。カンムリウズラが6月28日に2羽孵化しました。これは日本の動物園では初めてと思われます。変わったところでは小鳥舎のミドリカケスが産卵しましたが、抱卵しないため孵卵機に入れていたところ、6



月23日、24日にそれぞれ1羽孵化しました。残念ながら2羽とも孵化後数日で死亡してしまいました。まだ2卵孵卵機に入っていますのでぜひ成功させたいものです。

哺乳類ではニホンジカが5頭、ニホンザルが3頭生まれています。また、6月8日には今年初めてアシカの赤ちゃんが生まれました。22、23両日にもそれぞれ1頭生まれました。しかし、一頭目の子供は成長が悪くやせも



## くらしを彩るショッピング



**近鉄百貨店**

アベノ店 (06) 624-1111・上本町店 (06) 779-1231  
東京近鉄 (0422) 21-3331

・近鉄百貨店グループ

大阪(アベノ・上本町)・東大阪・奈良・京都・岐阜  
枚方・四日市・和歌山・徳山・別府・東京(吉祥寺)

## キーパーズ・アイ ⑱

### “キリンは何メートル？”

当園には3頭のキリンがいます。オスのタカオ、メスのリツ子とサキ子です。一番大きいのがタカオで年齢は、25才です。よく入園者から、「あの大きなキリンの背高はどの位ですか」と、聞かれます。

私は、キリンの背高をまだ測った事がないので、5m位ですと、適当に答えていたのですが、これではいけないと思い、キリン舎の入口に10cmくぎりで5m 60cmまで測れるメモリをつけました。キリンはあまりじっとしていないので測りにくいのですが、入口ですので、キリンが部屋から出る時や、入る時に測りました。その結果、タカオで4m 50cm。リツ子で4m。サキ子は3m 20cmでした。これは頭迄の高さです。肩高はタカオが3m 20cmで、足の長さは2mでした。今まで思っていたより50cmもひくかったのです。私にキリンの高さを聞かれた方、申し訳

ありませんでした。今度キリンを見にこられたら、色々な所を測ってみてはどうでしょうか。

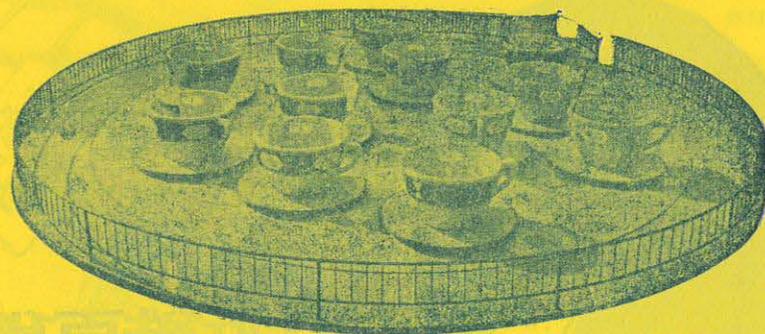
(飼育課：野口 秀高)



(イラスト：松山 浩美)

### “不法侵入者(鳥)”

## 遊園施設委託経営・製作・販売



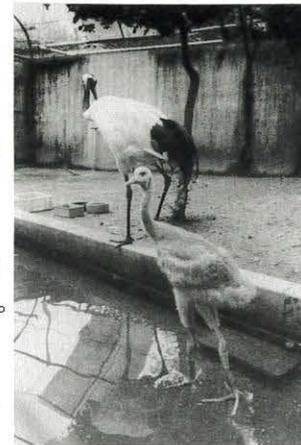
## 久竹 娛樂 株式会社

本社工場 大阪市西区北堀江1丁目23番21号  
電話 大阪(06)541-3112・3938 番

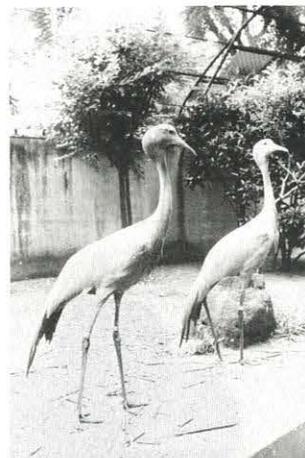
## 動物園ニュース

### § タンチョウ6年連続孵化。

先月のニュースで産卵をお知らせしましたタンチョウが、5月26、27日両日に孵化しました。これで6年連続11羽の雛が孵化しました。しかし、残念なことに先に孵化した雛が4日後に啄傷のため死亡してしまいました。昨年も1羽のヒナを失っていますので、残る1羽はぜひ元気に育って欲しいものです。



### § ハゴロモヅル入園



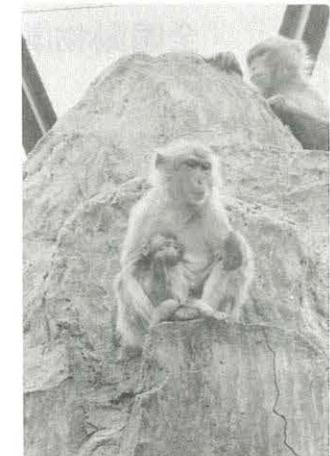
6月1日、ハゴロモヅルが一番入園しました。東京の多摩動物公園の御厚意により贈られてきたもので、さっそくコウノトリが新居へ移った後、空室だったツル舎の一角に展示しました。ハゴロモヅルは、南アフリカに住むツルで、頭部は丸くて大きく、三列風切羽は地面に引きずるくらい長く美しい鳥です。2羽とも昨年生れですが、とても仲がよく数年後の繁殖は充分期待できそうです。

### § まだまだ続く出産ラッシュ!!

タンチョウの他にも出産動物が相ついでいます。鳥では先月のニュースで産卵をお知らせしましたショウジョウトキが5月26日に2羽孵化しました。雛は順調に成育し孵化後18日目の6月13日にはもう巣立し、かわいい姿を見せています。一昨年誕生した2羽も今年から産卵し始めました。しかし、巣を作った場所が悪く破卵してしまいました。来年からは、うまくいけば2組のペアから雛の誕生がみられるかもしれません。

孵卵機に入れた卵も次々孵化しています。6月15、23両日にはベニジュケイがそれぞれ1羽孵化しました。これで今年は3羽孵化しました。また、オシドリも1羽6月18日に孵化しました。これは当園では初めてのことで、昨年初めて孵化に成功したアカ

ハシリウキウガモも6月21日に1羽孵化しました。カンムリウズラが6月28日に2羽孵化しました。これは日本の動物園では初めてと思われる。変わったところでは小鳥舎のミドリカケスが産卵しましたが、抱卵しないため孵卵機に入れていたところ、6



月23日、24日にそれぞれ1羽孵化しました。残念ながら2羽とも孵化後数日で死亡してしまいました。まだ2卵孵卵機に入っていますのでぜひ成功させたいものです。

哺乳類ではニホンジカが5頭、ニホンザルが3頭生まれています。また、6月8日には今年初めてアシカの赤ちゃんが

生まれました。22、23両日にもそれぞれ1頭生まれました。しかし、一頭目の子供は成長が悪くやせも



目立ってきたため生後16日目から人工哺育に切り替えましたが、残念なことに3日目に死亡してしまいました。その他、キョンが6月10日に1頭、6月25日にはカバ1頭、ピューマ3頭がそれぞれ生まれています。

### 休園日のお知らせ

動物園の休園日は毎月第3月曜日です。10月までの休園日は下記の通りです。

7月20日(月)、8月17日(月)、9月21日(月)、10月19日(月)。

開園時間は9時半～5時で、4時に切符売止めになります。

なきごえ 昭和56年7月15日発行(毎月1回15日発行)

編集/大阪市天王寺動物園

発行人/大阪市天王寺動物園協会 和田辰巳

印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共)

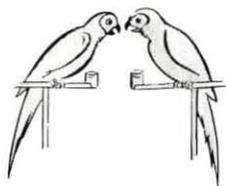
第17巻 第7号(通巻190号)

〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74

電話 大阪 (06)771-0201

振替口座 大阪 37823

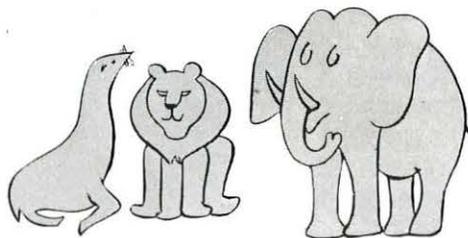
1年継続(12部)1,100円(送料共)



## 鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円



## 有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517  
 飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494



自然の  
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はいっさい含まれていません。



# 雪印ヨーグル

各130cc.=90円

パイン・オレンジ・ストロベリー・フルーツカクテル

編集委員

橋本 一郎・土井 良彦・樽本 勲・中川 哲男・宮下 実・長瀬健二郎・藤原 安昭・森本 泰利・大野 尊信  
 阪谷 文彦・農本 武志・野口 秀高・仲谷 登・高橋 真三・板野 健一・石島 宏胤・柴田 総